

信長葱の定植省力化栽培技術の推進

東近江農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

J Aグリーン近江安土ネギ生産部会では、平成15年から根深ネギ(信長葱)の栽培に取り組んでいます。近年、品質の良さや知名度の向上により需要が高まり、出荷量の増大が求められています。しかし、部会員の約7割が高齢者のため、夏の定植作業が負担となり、栽培面積拡大の阻害要因になっていました。そこで当課では、栽培面積拡大のための省力的な定植方法について検討を行いました。

【普及活動の成果】

昨年まで手作業で定植をしていた栽培面積10a以下の部会員10名(67a)を対象に簡易移植器「ひっぱりくん®」による定植を実施しました。簡易移植器はコスト負担軽減のため部会で購入し、全員が利用できるようにしました。作業時間は歩行速度にもよりますが、従来の3分の1程度(0.5h/a)に短縮できました。また、簡易移植器は、専用紙製チェーンポットで播種・育苗するため、播種は、部会員共同作業とし、初めてでもスムーズに作業できるよう指導しました。育苗期間中は、例年のない猛暑でしたが、チェーンポットは紙でできているため、水分はセル間を移動し、水分ムラがおきにくく均質な苗作りと苗の品質向上が実現しました。生産者からは「簡易移植器は手作業より定植作業が楽で早かった」「定植時の倒れや根痛みも少なく上手に植えることができた」との声が聞かれ、作業負担の軽減と品質向上に評価を得ることができました。



簡易移植器「ひっぱりくん®」の実演



部会員による共同播種

一方、栽培面積が大きな10a以上の部会員では、簡易移植器と作業能力の高い定植機を併用することで面積拡大を図っていきます。農産普及課では、栽培面積に応じた定植作業の効率化に取り組み、栽培面積・作期拡大につながるよう支援を継続していきます。